

平成24年度 当初予算

# 主な事業の説明書

生涯学習部

款	項	目	大	事	業	ページ
10	5	1	13	(新規)	青少年自立困難者訪問サポート事業費(緊急雇用基金分)	9-1
10	5	2	12		芸術文化振興費	9-2
10	5	2	13	(新規)	学校・家庭・地域を結ぶ総合推進事業費	9-3
10	5	2	50		生涯学習推進費負担金	9-4
10	5	3	13		公民館主催事業費	9-5
10	5	4	11		図書購入費	9-6
10	5	4	12		親と子の夢を育む読書活動推進事業費(光基金分)	9-7
10	5	4	13	(新規)	大曲図書館空調設備改修事業費	9-8
10	5	5	16		総合市民会館運営費	9-9
10	5	5	17		大仙市大曲新人音楽祭コンクール開催経費	9-11
10	5	6	11		文化財保護施設管理費	9-12
10	5	6	14		払田柵跡環境整備事業費	9-13
10	5	6	15		払田柵跡土地買上事業費	9-14
10	5	6	17		旧池田氏庭園整備事業費	9-15
10	5	6	18		埋蔵文化財調査費	9-16
10	6	1	11		スポーツ振興事業費	9-17
10	6	1	13		全県500歳・550歳野球大会関係費	9-18
10	6	1	15		スポーツ合宿等推進交流事業費	9-19
10	6	1	17	(新規)	トップスポーツ推進事業費	9-20
10	6	1	19	(新規)	大仙市長杯争奪大学野球サマーキャンプ記念大会関係費	9-21

# 事 業 説 明 書

10 款 5 項 1 目 13 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 生涯学習部 生涯学習課

(施策の大綱) 社会福祉の充実

(施策) 地域福祉の推進

(基本事業) 新たな支え合いのネットワーク構築

【事業名】 青少年自立困難者訪問サポート事業費（緊急雇用基金分）																																					
【説明項目】 青少年自立困難者訪問サポート事業について																																					
【24年度】	4,696 千円	【23年度】	0 千円	【増減額】	4,696 千円																																
1. 事業の目的																																					
不登校・高校中退・引きこもりの状態にある青少年を対象に、家庭を訪問して家族とともに本人の自立へ向けた支援を行う。																																					
2. 事業の目標（数値目標）																																					
訪問相談員を配置し、対象者を把握するとともに家族や関係機関と連携を取りながら支援し、自立につなげる。																																					
○訪問相談件数 100件																																					
○該当者（現在のフリースペースびおら利用者小学生～青年、26名）及び今後の調査による新たな該当者約30名、計50数名の児童・生徒・高校中退者のうち、1～2割の学校復帰及び社会復帰（就労）を目指す。																																					
3. 事業の概要																																					
○訪問相談員の配置		フリースペースびおら利用状況 (H23.6.1～H24.1.24)																																			
1. 対象者の調査（中学校卒業生の追跡調査を軸とする）		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>定期</th> <th>不定期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学生</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>青年</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td style="text-align: center;"><b>9</b></td> <td style="text-align: center;"><b>17</b></td> </tr> <tr> <td>母親</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td>父親</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>親族</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>オブザーバー</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td style="text-align: center;">27</td> </tr> </tbody> </table>				定期	不定期	小学生	2	5	中学生	2	4	高校生	2	2	青年	3	6	小計	<b>9</b>	<b>17</b>	母親	6	6	父親	0	1	親族	0	1	オブザーバー	0	2	合計	15	27
	定期				不定期																																
小学生	2	5																																			
中学生	2	4																																			
高校生	2	2																																			
青年	3	6																																			
小計	<b>9</b>	<b>17</b>																																			
母親	6	6																																			
父親	0	1																																			
親族	0	1																																			
オブザーバー	0	2																																			
合計	15	27																																			
2. 家族や関係機関との連絡調整																																					
3. 訪問相談																																					
○自立のための準備 「フリースペース びおら」（中通児童館内）		大仙ワーキングハウス協議会訪問活動件数 (H23.6.1～H24.1.24)																																			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談員が常駐して対応</li> <li>・自由な環境で人と接し、社会復帰する切っ掛けをつくる</li> <li>・本人とともに家族への支援も行う</li> <li>・ワーキングハウス主催プログラムへ参加するための支援</li> </ul>																																					
○自立のための活動 「大仙ワーキングハウス協議会」		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>昼間</th> <th>夜間</th> <th>企業</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">44</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: center;">66</td> </tr> </tbody> </table>			昼間	夜間	企業	合計	44	11	11	66																									
昼間	夜間				企業	合計																															
44	11	11	66																																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者に合わせた個別プログラムの実施</li> <li>・ジョブトレーニング</li> <li>・学校復帰へ向けた学習サポート</li> <li>・セミナー、研修会、企業訪問などへの参加督励</li> </ul>		※他に小中学校、民生児童委員等との情報集活動を随時行っている。																																			
○事業推進に係る人たちの理念の普及と会員の資質向上																																					
4. これまでの成果と今後の方向性																																					
<p>青少年の環境悪化による自立困難者の対応を市の重要課題と位置づけ、行政やNPO法人、関連する機関等が連携し一体となった支援策を講じることで、対象者の現状を把握し訪問から自立に向けたサポート体制を構築する。</p> <p>平成25年度以降は、事業実施主体である「大仙市ワーキングハウス協議会」の平成23・24年度の運営状況や実績をもとに、相談訪問体制の専門的な職員を配置する市の委託事業として本事業を継続する。運営に当たっては、事業の主体をなす専門職員の配置と併せ、市職員の積極的な関与・連携のため生涯学習課が調整役を担い、関係部局・機関とも連動して、これまでの個々の対応をベースにしながらも「新しい公共」の理念のもとに新たな仕組みで、実効性のある事業をめざす。</p>																																					
《H23年度事務事業評価における内容》				総合評価 (今後の方向性)																																	
5. 財源内訳																																					
(単位:千円)																																					
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源																																	
4,696	4,696			0																																	
【国県支出金】 15款2項4目：秋田県緊急雇用創出臨時対策基金事業費補助金																																					

# 事 業 説 明 書

10 款 5 項 2 目 12 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 生涯学習部 生涯学習課

(施策の大綱) 芸術、文化の振興

(施策) 芸術、文化活動の振興

(基本事業) 文化活動参加機会の提供

<b>【事業名】</b> 芸術文化振興費 <b>【説明項目】</b> 芸術文化振興に係る経費について																				
<b>【24年度】</b> 5,129 千円 <b>【23年度】</b> 5,263 千円 <b>【増減額】</b> △ 134 千円																				
<b>1. 事業の目的</b> 芸術文化に携わる人たちの成果発表の場、及び地域住民に芸術鑑賞の場を提供することで心の充足と地域の活性化、市全体の芸術文化水準の向上発展を目的とする。																				
<b>2. 事業の目標（数値目標）</b> 生きがいとなる芸術文化活動に参加することを積極的に奨励し、各地域文化祭や大仙市芸術祭への来場者を引き上げられるよう内容の工夫と周知に力を入れる。 例年1日500人 ⇒ 700人 各地域の民謡ファンに開催情報などを周知徹底し、ふるさと民謡めぐりへの来場者を引き上げられるよう幅広い年齢層の集客に力を入れる。 例年1地域200人 ⇒ 300人																				
<b>3. 事業の概要</b> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">生涯学習課</td> <td style="width: 70%;">1,678千円（大仙市芸術祭、大曲地域文化祭、ふるさと民謡めぐり）</td> </tr> <tr> <td>神岡中央公民館</td> <td>190千円（神岡地域文化祭）</td> </tr> <tr> <td>西仙北中央公民館</td> <td>1,151千円（西仙北地域文化祭、菊花展、東北学生将棋大会）</td> </tr> <tr> <td>中仙公民館</td> <td>394千円（生涯学習作品展、伝承芸能保存活動、広報誌発行）</td> </tr> <tr> <td>協和公民館</td> <td>939千円（きょうわ祭、まほろば唐松春の芸術祭、広報誌発行）</td> </tr> <tr> <td>南外公民館</td> <td>219千円（なんがい地域祭）</td> </tr> <tr> <td>仙北公民館</td> <td>254千円（仙北公民館まつり）</td> </tr> <tr> <td>太田公民館</td> <td>304千円（地域文化祭、文化プラザミニ展示）</td> </tr> </table>					生涯学習課	1,678千円（大仙市芸術祭、大曲地域文化祭、ふるさと民謡めぐり）	神岡中央公民館	190千円（神岡地域文化祭）	西仙北中央公民館	1,151千円（西仙北地域文化祭、菊花展、東北学生将棋大会）	中仙公民館	394千円（生涯学習作品展、伝承芸能保存活動、広報誌発行）	協和公民館	939千円（きょうわ祭、まほろば唐松春の芸術祭、広報誌発行）	南外公民館	219千円（なんがい地域祭）	仙北公民館	254千円（仙北公民館まつり）	太田公民館	304千円（地域文化祭、文化プラザミニ展示）
生涯学習課	1,678千円（大仙市芸術祭、大曲地域文化祭、ふるさと民謡めぐり）																			
神岡中央公民館	190千円（神岡地域文化祭）																			
西仙北中央公民館	1,151千円（西仙北地域文化祭、菊花展、東北学生将棋大会）																			
中仙公民館	394千円（生涯学習作品展、伝承芸能保存活動、広報誌発行）																			
協和公民館	939千円（きょうわ祭、まほろば唐松春の芸術祭、広報誌発行）																			
南外公民館	219千円（なんがい地域祭）																			
仙北公民館	254千円（仙北公民館まつり）																			
太田公民館	304千円（地域文化祭、文化プラザミニ展示）																			
<b>4. これまでの成果と今後の方向性</b> 各地域文化祭や市芸術祭は芸術文化協会が企画し、実行委員会によって運営され協働のまちづくりが実践されている。今後も事業内容等工夫をしながら市民への認知、集客の増を目指す。 ふるさと民謡めぐりは各地域公民館との連携により、かなり定着してきている。今後は地域で活動する民謡愛好団体とのコラボ等内容に変化を加えるとともに、活動の幅を広げながら集客の増を目指す。																				
《H23年度事務事業評価における内容》 市民の芸術文化に対する意識は年々高揚しており、創作意欲や舞台での発表を心の糧として日々研鑽に努めている市民も数多い。また、大仙市芸術文化協会は各支部との連携により事業を展開しているが、組織が大きくなったこと等による課題もあり、行政による指導、支援も継続する必要がある。なお、平成26年度秋田県開催「国民文化祭」への取組についても協会や関係団体と連携をとり推進していく予定である。				総合評価 (今後の方向性)  <b>改善しながら 継続</b>																
<b>5. 財源内訳</b>																				
(単位:千円)																				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源																
5,129			600	4,529																
<b>【その他】</b> 18款1項1目：環境保全基金繰入金																				



# 事 業 説 明 書

10 款 5 項 2 目 50 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 生涯学習部 生涯学習課

(施策の大綱) 生涯学習の推進

(施策) 生涯学習の基盤づくりと推進基盤の充実

(基本事業) 推進体制の充実とネットワーク化

【事業名】 生涯学習推進費負担金					
【説明項目】 生涯学習推進及び関連事業開催に係る負担金について					
【24年度】	5,877 千円	【23年度】	5,890 千円	【増減額】	△ 13 千円
1. 事業の目的					
<p>○社会教育委員・生涯学習推進連絡協議会委員等専門的委員を中心に、関連情報を共有し活動を推進する。</p> <p>○在留外国人への日本語講座を広域連携により開設、国際化の推進や地域理解を通じ社会参加を促進する。</p> <p>○地域に根付いた伝統文化の継承や普及・拡大を図り、市民生活に潤いと生きがいを与える。</p>					
2. 事業の目標（数値目標）					
<p>○在住外国人の日本語習得及び地域国際化の推進や、地域理解を通じた社会参加を促進する。 日本語指導者新規養成 5 人（及び現指導者 16 人のレベルアップ）</p> <p>○事業を通じ、若手の指導・育成を行い、未永く地域の伝統文化が継承される環境を整える。 民謡関係大会出場者 320 人 囲碁・将棋大会参加者 400 人（囲碁 280 人、将棋 120 人）</p>					
3. 事業の概要					
<p>・生涯学習課 4,098 千円</p> <p style="margin-left: 20px;">大仙仙北地区生涯学習奨励員連絡協議会負担金 59 千円</p> <p style="margin-left: 20px;">秋田県生涯学習奨励員連絡協議会負担金 89 千円</p> <p style="margin-left: 20px;">大仙仙北広域圏日本語講座運営経費負担金 1,818 千円</p> <p style="margin-left: 20px;">秋田おばこ節全国大会負担金 1,522 千円</p> <p style="margin-left: 20px;">大仙市民交流囲碁大会負担金 310 千円</p> <p style="margin-left: 20px;">大仙市民交流将棋大会負担金 300 千円</p> <p>・神岡中央公民館</p> <p style="margin-left: 20px;">秋田飴売り節大会負担金 533 千円</p> <p>・太田公民館</p> <p style="margin-left: 20px;">秋田おはら節全国大会負担金 1,246 千円</p>					
4. これまでの成果と今後の方向性					
<p>○推進体制等 23 年度は従来の推進活動のほか第 2 次生涯学習推進計画策定においても従事。</p> <p>○日本語講座 前年指導者養成講座を開催し 3 人が新指導員に。年間受講者数は震災の影響で減少。</p> <p>○文化事業等 市の芸術文化は全国規模の大会も多く、大仙市を全国に PR する絶好の機会である。</p>					
《H23 年度事務事業評価における内容》				総合評価 (今後の方向性)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の学習意欲や学びたいテーマの的確な把握が難しいことから、今後さらに生涯学習奨励員との連携が大事になってくる。</li> <li>・他部署でも類似した事業が展開されることが予測され、連絡調整を一層密にする。</li> <li>・23 年度同様、公民館連携事業の実施。（他地域公民館と連携し参加を募る）</li> <li>・自主事業の一部について、市教育委員会教育指導部と連携した実施の検討。</li> <li>・財政状況を勘案しながら、優れた文化芸術を提供していく。</li> </ul>				改善しながら 継続	
5. 財源内訳					
(単位:千円)					
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	
5,877				5,877	

# 事 業 説 明 書

10 款 5 項 3 目 13 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 生涯学習部 生涯学習課

(基本事業) 市民のニーズや各世代に応じた  
学習機会の提供

(施策の大綱) 生涯学習の推進

(施策) 学習情報の提供と学習機会の充実

<b>【事業名】</b> 公民館主催事業費 <b>【説明項目】</b> 公民館が主催する各種講座に係る経費について																				
<b>【24年度】</b> 6,265 千円 <b>【23年度】</b> 6,569 千円 <b>【増減額】</b> △ 304 千円																				
<b>1. 事業の目的</b>  公民館が主催する各種講座や事業を通して世代間交流や地域の親睦を図り、市民の生涯にわたる学習意欲を向上させる。																				
<b>2. 事業の目標（数値目標）</b>  市民のニーズや世代に応じた学習機会を提供し、学習した成果を地域に活かし、地域コミュニティ活動の活性化を図る。  講座受講者、事業参加者数 38,000人																				
<b>3. 事業の概要</b>  <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">生涯学習課</td> <td>749千円（大曲地域公民館まつり、青少年交流事業、ガーデニング教室等）</td> </tr> <tr> <td>神岡中央公民館</td> <td>792千円（嶽友大学、おもしろ講座、子育て講座、地域子ども教室等）</td> </tr> <tr> <td>西仙北中央公民館</td> <td>685千円（寿楽大学、子育て講座、家庭教育講座等）</td> </tr> <tr> <td>中仙公民館</td> <td>1,153千円（絵本読み聞かせ講座、子育て講座、自然観察探検事業、分館事業等）</td> </tr> <tr> <td>協和公民館</td> <td>753千円（仙人大学、わんぱく縄文探検隊、地域学習講座、分館主催事業等）</td> </tr> <tr> <td>南外公民館</td> <td>664千円（陶芸教室、料理教室、キッズプロジェクト事業等）</td> </tr> <tr> <td>仙北公民館</td> <td>405千円（暮らしの達人講座、書道教室、親子陶芸教室、古文書解説講座等）</td> </tr> <tr> <td>太田公民館</td> <td>1,064千円（ふれあい通学合宿、パソコン講座、陶芸教室、押し花教室等）</td> </tr> </table>					生涯学習課	749千円（大曲地域公民館まつり、青少年交流事業、ガーデニング教室等）	神岡中央公民館	792千円（嶽友大学、おもしろ講座、子育て講座、地域子ども教室等）	西仙北中央公民館	685千円（寿楽大学、子育て講座、家庭教育講座等）	中仙公民館	1,153千円（絵本読み聞かせ講座、子育て講座、自然観察探検事業、分館事業等）	協和公民館	753千円（仙人大学、わんぱく縄文探検隊、地域学習講座、分館主催事業等）	南外公民館	664千円（陶芸教室、料理教室、キッズプロジェクト事業等）	仙北公民館	405千円（暮らしの達人講座、書道教室、親子陶芸教室、古文書解説講座等）	太田公民館	1,064千円（ふれあい通学合宿、パソコン講座、陶芸教室、押し花教室等）
生涯学習課	749千円（大曲地域公民館まつり、青少年交流事業、ガーデニング教室等）																			
神岡中央公民館	792千円（嶽友大学、おもしろ講座、子育て講座、地域子ども教室等）																			
西仙北中央公民館	685千円（寿楽大学、子育て講座、家庭教育講座等）																			
中仙公民館	1,153千円（絵本読み聞かせ講座、子育て講座、自然観察探検事業、分館事業等）																			
協和公民館	753千円（仙人大学、わんぱく縄文探検隊、地域学習講座、分館主催事業等）																			
南外公民館	664千円（陶芸教室、料理教室、キッズプロジェクト事業等）																			
仙北公民館	405千円（暮らしの達人講座、書道教室、親子陶芸教室、古文書解説講座等）																			
太田公民館	1,064千円（ふれあい通学合宿、パソコン講座、陶芸教室、押し花教室等）																			
<b>4. これまでの成果と今後の方向性</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民の学習意欲、活動意欲は、活力ある豊かな社会の構築につながる。</li> <li>・ 関連機関、団体との共催による経費の節減が見込める。</li> </ul>																				
《H23年度事務事業評価における内容》  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎年開催することにより、講師の固定化によるマンネリ化や人口の減少及び参加者の減少に伴い、適正かつ効率的な事業展開が必要である。</li> <li>・ 新規受講者の増を図るための啓発活動の一環として、現受講による口コミを励行。</li> <li>・ 受講者の発表の場の設定と他の講座も受講するという意欲を醸成する。</li> <li>・ 地域住民の方々の芸術発表の役割も果たしている事業もあり、学習意欲や発表の場として今後も提供していく。</li> </ul>				総合評価 (今後の方向性)  <b>改善しながら 継続</b>																
<b>5. 財源内訳</b>  <div style="text-align: right;">(単位:千円)</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">予算額</th> <th style="width: 25%;">国県支出金</th> <th style="width: 25%;">市債</th> <th style="width: 25%;">その他</th> <th style="width: 10%;">一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">6,265</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">6,265</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	6,265				6,265						
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源																
6,265				6,265																

# 事 業 説 明 書

10 款 5 項 4 目 11 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 生涯学習部 生涯学習課 総合図書館

(施策の大綱)生涯学習の推進

(施策)学習情報の提供と学習機会の充実

(基本事業)総合的な学習の場及び図書の情報提供

<b>【事業名】</b>	図書購入費				
<b>【説明項目】</b>	図書購入費について				
<b>【24年度】</b>	11,000 千円	<b>【23年度】</b>	11,000 千円	<b>【増減額】</b>	0 千円
<b>1. 事業の目的</b>					
<p>図書館は情報発信の基地といわれており、常に新しい資料を求める市民に対し、高度・多様化する図書館ニーズへの対応とサービス水準の維持・向上を図り、特色ある公立図書館の構築を目指すため、要求図書・専門図書などの充実を図ることを目的とする。</p>					
<b>2. 事業の目標（数値目標）</b>					
<p>図書館は、多方面にわたる図書資料や情報を収集し生涯学習へのニーズに迅速、的確に対応できるようサービスの提供を図る。</p>					
	現在値 (H22年度末)		目標値 (H24年度末)		
利用者数	75,222人		79,000人		
蔵書数	276,832冊		280,000冊		
<b>3. 事業の概要</b>					
<p>TRC（図書館流通センター）より購入しているベルコースに関しては、話題本が定期的に送られてくるので現状のままとして、それ以外に関しては、定例の選書会議を開催し、各図書館の特徴（地域性）を重んじた選書に努め、極力重複することのないように蔵書構成を図る。</p>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>○TRC（ベルコース） 2,120冊 3,280千円 日本文芸書、外国文芸書、児童読み物、中・高校生用、暮らしの実用書、住まいと住宅、健康と家庭の医学、日本の文学、現代社会等</li> <li>○選書 3,550冊 6,720千円 一般図書、児童図書、大型絵本、郷土資料、参考図書等</li> <li>○視聴覚図書 170巻 1,000千円 DVD、CD（音楽・朗読）</li> <li>○各図書館で重点を置き購入したい図書 <ul style="list-style-type: none"> <li>大 曲 調べ学習図書（児童図書）、調査研究に必要な図書（参考図書）、郷土資料、専門書</li> <li>神 岡 野球関係図書、調べ学習図書（児童図書）</li> <li>西仙北 児童支援サービス資料、学校や保育園の活動・学習を支援する資料（児童図書）</li> <li>中 仙 黒澤文庫を中心とした芸術文化資料</li> <li>協 和 郷土資料、児童書</li> <li>南 外 調べ学習図書（児童図書）、参考図書</li> <li>仙 北 調査・学習に必要な参考資料（辞典・事典・年鑑・全集）、郷土資料、視聴覚図書</li> <li>太 田 絵本・調べ学習用図書（児童図書）、大型絵本</li> </ul> </li> </ul>					
<b>4. これまでの成果と今後の方向性</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定例選書会議を開催し、各図書館の蔵書計画（上記重点図書）を見据えての購入が可能となった。</li> <li>・ 図書の不足分については、相互貸借を積極的に活用し市民サービスの向上を図る。</li> </ul>					
<p>《H23年度事務事業評価における内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定例選書会議により、重複本を極力さげ、話題性のある本などバランスよく調達できた。</li> <li>・ 学校の調べ学習に関する図書の充実を図った。</li> </ul>				総合評価 (今後の方向性)  <b>改善しながら 継続</b>	
<b>5. 財源内訳</b>					
(単位:千円)					
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	
11,000				11,000	



# 事 業 説 明 書

10 款 5 項 4 目 12 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 生涯学習部 生涯学習課 総合図書館

(施策の大綱)生涯学習の推進

(施策)学習情報の提供と学習機会の充実

(基本事業)総合的な学習の場及び図書館の情報提供

<b>【事業名】</b> 親と子の夢を育む読書活動推進事業費（光基金分） <b>【説明項目】</b> 親と子の夢を育む読書活動推進事業に係る経費について																
<b>【24年度】</b> 19,590 千円 <b>【23年度】</b> 21,934 千円 <b>【増減額】</b> △ 2,344 千円																
<b>1. 事業の目的</b> 「大仙市親と子の夢を育む読書活動推進計画」に基づき、平成22年度から平成26年度までの5年間、子ども読書活動の充実と環境の整備に努め、子どもたちの読書に親しむ姿勢を後押しし、次世代を担う心豊かな子どもたちを育成する。																
<b>2. 事業の目標（数値目標）</b> 大仙市の子どもたちがあらゆる機会をとらえて、自主的に読書に親しむ習慣を身につけられるような環境づくりを進めるため、4項目の基本目標にそって読書活動を推進する。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;">1. 家庭・地域における読書活動の推進</td> <td style="width: 50%; border: none;">2. 保育園・幼稚園における読書活動の推進</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">3. 学校における読書活動の推進</td> <td style="border: none;">4. 図書館における読書活動の推進</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">読書活動推進計画を推進するための24の施策</td> <td style="border: none;"> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">現在値 (H23年度)</td> <td style="width: 50%;">目標値 (H24年度)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">20 施策実施</td> <td style="text-align: center;">24 施策実施</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>					1. 家庭・地域における読書活動の推進	2. 保育園・幼稚園における読書活動の推進	3. 学校における読書活動の推進	4. 図書館における読書活動の推進	読書活動推進計画を推進するための24の施策	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">現在値 (H23年度)</td> <td style="width: 50%;">目標値 (H24年度)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">20 施策実施</td> <td style="text-align: center;">24 施策実施</td> </tr> </table>	現在値 (H23年度)	目標値 (H24年度)	20 施策実施	24 施策実施		
1. 家庭・地域における読書活動の推進	2. 保育園・幼稚園における読書活動の推進															
3. 学校における読書活動の推進	4. 図書館における読書活動の推進															
読書活動推進計画を推進するための24の施策	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">現在値 (H23年度)</td> <td style="width: 50%;">目標値 (H24年度)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">20 施策実施</td> <td style="text-align: center;">24 施策実施</td> </tr> </table>	現在値 (H23年度)	目標値 (H24年度)	20 施策実施	24 施策実施											
現在値 (H23年度)	目標値 (H24年度)															
20 施策実施	24 施策実施															
<b>3. 事業の概要</b> ○ブックスタート事業（家庭・地域における読書活動の推進） 4か月児健診時に、赤ちゃんと保護者を対象に絵本を開く楽しい体験と一緒に絵本を手渡す。 ○保育園・幼稚園における読書活動の推進 子どもたちの本への興味を持続させるため、絵本に興味を持った子どもたちが、機会を逃すことなく、絵本を自由に手にとることができるよう、各園の要望を取り入れて絵本の一層の充実を図る。 ○学校における読書活動の推進（小・中学校への支援） 一日の大部分の時間を学校で過ごす児童生徒にとって、学校図書館の存在や学校における読書活動の推進は、子どもたちの健やかな成長のために大きな役割を担っており、図書館の充実を図る。 ○公立図書館の図書館の充実 児童書の計画的な整備と総合的な学習や調べ学習に対応できるよう図書館の充実を図る。 ○公立図書館と学校図書館の連携 子ども読書支援サポーターを配置し、幼保施設・小中学校を巡回し、子どもの読書活動に対する支援体制を強化し、読書活動の推進を図り、公立図書館と学校図書館が連携し読書活動を支援する。 <b>◆平成24年度の事業費</b> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">○ブックスタート事業</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">1,080 千円</td> </tr> <tr> <td>○保育園・幼稚園における読書活動の推進</td> <td style="text-align: right;">2,514 千円</td> </tr> <tr> <td>○学校における読書活動の推進</td> <td style="text-align: right;">9,100 千円</td> </tr> <tr> <td>○公立図書館の充実</td> <td style="text-align: right;">2,053 千円</td> </tr> <tr> <td>○公立図書館と学校図書館の連携（賃金等）</td> <td style="text-align: right;">4,427 千円</td> </tr> <tr> <td>○その他（旅費、消耗品費等、備品、ボランティア保険）</td> <td style="text-align: right;">416 千円</td> </tr> </table>					○ブックスタート事業	1,080 千円	○保育園・幼稚園における読書活動の推進	2,514 千円	○学校における読書活動の推進	9,100 千円	○公立図書館の充実	2,053 千円	○公立図書館と学校図書館の連携（賃金等）	4,427 千円	○その他（旅費、消耗品費等、備品、ボランティア保険）	416 千円
○ブックスタート事業	1,080 千円															
○保育園・幼稚園における読書活動の推進	2,514 千円															
○学校における読書活動の推進	9,100 千円															
○公立図書館の充実	2,053 千円															
○公立図書館と学校図書館の連携（賃金等）	4,427 千円															
○その他（旅費、消耗品費等、備品、ボランティア保険）	416 千円															
<b>4. これまでの成果と今後の方向性</b> 平成22年度から実施しており、平成23・24年度は住民に光をそそぐ交付金の予算措置(光基金)で実施。平成25年度以降も事業実施については継続する。																
《H23年度事務事業評価における内容》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックスタート事業については、定着してきており保護者からも好評を得ている。</li> <li>・保育園・幼稚園、小中学校における読書活動推進については、絵本及び学校図書充実を図っている。</li> <li>・子ども読書支援サポーターの配置により、子どもの読書活動に対する支援体制と学校図書館の整備が図られている。</li> </ul>				総合評価 (今後の方向性)  <b>改善しながら 継続</b>												
<b>5. 財源内訳</b> <span style="float: right;">(単位:千円)</span>																
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源												
19,590			19,590													
<b>【その他】</b> 18款1項1目：住民生活に光をそそぐ基金繰入金																

# 事 業 説 明 書

10 款 5 項 4 目 13 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 生涯学習部 生涯学習課 総合図書館

(施策の大綱)生涯学習の推進

(施策)生涯学習の基盤づくりと推進基盤の充実

(基本事業)図書展示・配架の工夫

【事業名】 大曲図書館空調設備改修事業費				
【説明項目】 大曲図書館空調設備改修工事について				
【24年度】	55,944 千円			
【23年度】	0 千円			
【増減額】	55,944 千円			
1. 事業の目的				
<p>昭和60年より水冷ヒートポンプチーリングユニット方式ということで、地下水の熱を有効利用し、水冷チラー（熱交換機）の所で冷温水を作り、夏は冷たい水を、冬は暖かい水を蓄熱槽に溜め、この蓄熱槽の熱源水を利用し冷暖房を行っている。26年を経過していることから、機械の老朽化が見受けられ、毎年不具合が生じ空調機本体の修繕費を要している状況である。市民により快適に利用していただくためにも早急に改善を図り維持管理に努める。</p>				
2. 事業の目標（数値目標）				
<p>図書館は利用者に対し快適な環境の基、より多くの生涯学習の場を提供し、多様化する図書館ニーズへの対応とサービス水準の維持・向上に努めるとともに、図書館内の環境整備を図ることにより、より安全・安心な図書館運営を築くものである。</p>				
利用者数（大曲）	現在値（H22年度末） 36,490人			
	目標値（H24年度末） 37,000人			
3. 事業の概要				
「ガスエンジンヒートポンプエアコン」方式				
業務委託設計費合計	3,150千円 -----→①			
工事概要				
1. 冷暖房機器・配管設備	23,900千円			
2. 冷暖房配管設備	4,400千円			
3. 自動制御及び換気設備	5,600千円			
4. 電気・ガス設備	5,000千円			
5. 建築工事	3,000千円			
6. 諸経費	8,380千円			
消費税	2,514千円			
総工事費	52,794千円 -----→②			
合計（①+②）	55,944千円			
○空調設備方式				
<p>既存設備を更新するには井戸の再掘削する費用と自動制御設備の費用がかさむことから、暖房能力、ランニングコストの低い「ガスエンジンヒートポンプエアコン」方式を採用。</p>				
○ランニングコスト				
<p>光熱費は、「ガスエンジンヒートポンプエアコン」方式が、年間1,000千円ほど安い。</p>				
4. これまでの成果と今後の方向性				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・24年度に新規事業として実施予定。</li> <li>・設備改修をすることにより、快適な環境を提供し、図書館利用の増に繋がる。また、修繕費がかからなくなり、保守点検の維持管理においても少額で済む。</li> </ul>				
《H23年度事務事業評価における内容》				
総合評価 (今後の方向性)				
5. 財源内訳				
(単位:千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
55,944		53,100		2,844
【市 債】 21款1項7目：図書館整備事業債				

# 事 業 説 明 書

10 款 5 項 5 目 16 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 生涯学習部 生涯学習課 総合市民会館

(施策の大綱) 芸術、文化活動の振興

(施策) 芸術、文化活動の振興

(基本事業) 芸術鑑賞機会の拡大

【事業名】 総合市民会館運営費

【説明項目】 自主事業公演運営費について

【24年度】 36,942 千円 【23年度】 36,677 千円 【増減額】 265 千円

## 1. 事業の目的

「文化芸術振興基本法」第一章・第二条の3に「国民がその居住する地域にかかわらず等しく、文化芸術を鑑賞し、これに参加し、又はこれを創造することができるような環境の整備が図られなければならない。」との基本理念と、第四条（地方公共団体の責務・略）を実現するために、優れた芸術、文化、公演を身近に鑑賞する機会を提供し、市民の芸術文化意識を高め発展向上を図ることを目的とする。

## 2. 事業の目標（数値目標）

市民の目線からの意見や提案を積極的に取り入れながら、全市的な立場から大仙市として統一のとれた自主事業公演を実施する。

「事業費」に占める「歳入（入場料）」（収支比率）は、19年度39%、20年度42%、21年度43%、22年度44%と僅かずつながら向上してきており、今後これを50%以上にすることが目標である。

## 3. 事業の概要

### ○ 4館自主事業公演費用

◆平成24年度	(千円)	◆平成23年度	(千円)
大曲市民会館（4事業）	14,071	大曲市民会館（4事業）	12,384
中仙市民会館（5事業）	9,298	中仙市民会館（5事業）	10,804
協和市民センター（4事業）	10,807	協和市民センター（4事業）	11,227
ふれあい文化センター（2事業）	2,766	ふれあい文化センター（2事業）	2,262
計	36,942	計	36,677

※ 公演内容次頁

## 4. これまでの成果と今後の方向性

H23年度に、自主事業公演の企画立案を図り、協働によるまちづくりの推進に資することを目的として、新たに大仙市市民会館等運営連絡協議会を設置しH24年度の自主事業を策定した。総合計画「実施計画」に沿ってH23年度まで各年10%の削減を図ってきた。H24年度以降は運営費3,600万円前後で事業を実施していくが、前述のとおり、収支比率を向上させることが課題である。

### 《H23年度事務事業評価における内容》

- ・大都市と異なり、舞台芸術鑑賞機会の少ない地方にあっては、市民の要望に応え、一定の財政負担によりその機会を提供することは必要であり、「未来を創り心豊かな人を育むまちづくり」のために非常に有効である。
- ・H24年度においては、新たに設置した市民参画による「大仙市市民会館等運営連絡協議会」が策定した4館自主事業を予算措置する。

総合評価  
(今後の方向性)

改善しながら  
継続

## 5. 財源内訳

(単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
36,942			20,034	16,908

【その他】 18款1項1目：教育文化基金繰入金 1,065  
20款5項5目：入場料等収入 18,969

## 24年度 4館自主事業公演

		事業名	実施年月日	公演形態	入場料金
					(前売り)円
大曲市民会館	1	スロヴァキア・フィルハーモニー管弦楽団 スロヴァキアの名門オーケストラと、2008年第10回アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクールで日本人初、女性初、最年少優勝の快挙を成し遂げた三ツ橋敬子氏との共演	6/24(日)	自主	S 6,000×470 A 5,000×180 B 4,000×150
	2	(タンゴ) TANGO・PASION 本場ブエノスアイレスでタンゴの魂をつかんだ歌の女王、香坂優とアルゼンチンダンサーによる魅惑のタンゴショー	8/5(日)	自主	S 4,500×450 A 3,500×150 B 3,000×100
	3	「あきた歌の輪」コンサート 「秋田県民歌」、秋田ゆかりの歌、日本の歌、そしてふるさとの歌を地元吹奏楽団と地元合唱団で歌い上げるコンサート。3回目を迎える催しを大仙市で開催する。	12/9(日)	共催	1,000円を予定 NPO法人 We Love あきた歌のネットワークとの共催
	4	小松英典コンサート(仮称)	11/11(日)	自主	一般 2,500×376 学生無料招待
中仙市民会館	1	自衛隊三沢航空音楽隊コンサート	5月下旬	自主	0
	2	ムッシュかまやつと素晴らしき仲間たちライブ	7月上旬	自主	S 4,000×250 A 3,500×250
	3	松竹特別公演「初薨」(主演:山本陽子)	8/28(火)	自主	S 5,000×250 A 4,500×250
	4	ドンパルJAZZ 2012 FM秋田公開収録 「FMジャズライブ」	12月初旬	共催	自由 2,000×500 (内100席歳入)
	5	優秀映画鑑賞会	1月下旬	自主	500×200
協和市民センター	1	自衛隊音楽隊コンサート	6月下旬	自主	0
	2	落語 三遊亭圓楽独演会 平成22年3月に六代目を襲名した「円楽」の独演会。前座に「秋田お笑い大使」に任命された桂三若の出演を調整中。	7月下旬	自主	自由 3,500×450
	3	ビリーバンバン コンサート 「白いブランコ」でおなじみの兄弟フォークデュオ。近年「また君に恋してる」のヒットで幅広い層に支持されている。	11/25(日)	自主	3,800×450
	4	能公演(観世流)	9/1(土)	自主	S 8,000×235 A 7,000×85
文化北ふんたあい	1	民俗芸能フェスティバル ～史跡の里で夢の競演～	9月	自主	全席自由1,000×520
	2	史跡の里ふれあいコンサート(自衛隊音楽隊)	10月中旬	自主	0

# 事 業 説 明 書

10 款 5 項 5 目 17 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 生涯学習部 生涯学習課 総合市民会館

(施策の大綱) 芸術、文化活動の振興

(施策) 芸術、文化活動の振興

(基本事業) 芸術鑑賞機会の拡大

<b>【事業名】</b> 大仙市大曲新人音楽祭コンクール開催経費 <b>【説明項目】</b> 大仙市大曲新人音楽祭コンクール開催経費について																																												
<b>【24年度】</b> 5,427 千円 <b>【23年度】</b> 4,927 千円 <b>【増減額】</b> 500 千円																																												
<b>1. 事業の目的</b> 若い音楽家による演奏コンクールを実施し、将来性のある音楽家の発掘、育成を図ることにより、地方における音楽文化の振興と環境づくりに寄与することを目的として開催する。																																												
<b>2. 事業の目標（数値目標）</b> (1) 音楽祭の開催により、市民自ら誇りに思えるまちづくりを進める。 (2) 音楽を媒介した人と人との交流から、心豊かで温かい地域社会を実現していく。 (3) 今後も「行政と市民との協働によるまちづくり」を推進し、入場料を無料として多くの方々から鑑賞していただくとともに、小中学校との連携による音楽教育・情操教育の充実を図る。 ※入場者数の拡大 24年度 875人 25年度 918人 (年5%増)																																												
<b>3. 事業の概要</b> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; padding: 2px;">(1) 会場</td> <td style="padding: 2px;">大曲市民会館大ホール、大曲市民会館小ホール（大曲中央公民館）</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">(2) 開催日</td> <td style="padding: 2px;">平成25年1月12日（土）予選（ピアノ部門）（弦・管・打部門）（声楽部門） 平成25年1月13日（日）本選（全部門）</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">(3) 出場資格</td> <td style="padding: 2px;">ピアノ部門――高校生以上30歳まで 弦・管・打部門――高校生以上30歳まで 声楽部門――高校生以上35歳まで</td> <td style="border-left: 1px solid black; padding: 2px;"></td> <td style="border-left: 1px solid black; padding: 2px;"></td> <td style="padding: 2px;">23年度（H24.1.14～15） 出場者数 52名 （申込者数 57名） 入場者数 833名</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">(4) 審査員</td> <td style="padding: 2px;">日本を代表する高名な演奏家及び指導者（6名）</td> <td style="border-left: 1px solid black; padding: 2px;"></td> <td style="border-left: 1px solid black; padding: 2px;"></td> <td style="padding: 2px;">22年度 出場者数 64名 入場者数 751名</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">(5) 授賞</td> <td style="padding: 2px;">グランプリ 1名（賞状・トロフィー・副賞30万円） 優秀賞 2名（賞状・トロフィー・副賞10万円） 奨励賞 3名（賞状・トロフィー・副賞 5万円）</td> <td style="border-left: 1px solid black; padding: 2px;"></td> <td style="border-left: 1px solid black; padding: 2px;"></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">(6) 参加料</td> <td style="padding: 2px;">10,000円</td> <td style="border-left: 1px solid black; padding: 2px;"></td> <td style="border-left: 1px solid black; padding: 2px;"></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">(7) 入場料</td> <td style="padding: 2px;">無料</td> <td style="border-left: 1px solid black; padding: 2px;"></td> <td style="border-left: 1px solid black; padding: 2px;"></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">(8) 記念事業</td> <td colspan="4" style="padding: 2px;">「25周年記念事業」として、コンクール審査員らの演奏によるコンサートを実施する。</td> </tr> </table>					(1) 会場	大曲市民会館大ホール、大曲市民会館小ホール（大曲中央公民館）				(2) 開催日	平成25年1月12日（土）予選（ピアノ部門）（弦・管・打部門）（声楽部門） 平成25年1月13日（日）本選（全部門）				(3) 出場資格	ピアノ部門――高校生以上30歳まで 弦・管・打部門――高校生以上30歳まで 声楽部門――高校生以上35歳まで			23年度（H24.1.14～15） 出場者数 52名 （申込者数 57名） 入場者数 833名	(4) 審査員	日本を代表する高名な演奏家及び指導者（6名）			22年度 出場者数 64名 入場者数 751名	(5) 授賞	グランプリ 1名（賞状・トロフィー・副賞30万円） 優秀賞 2名（賞状・トロフィー・副賞10万円） 奨励賞 3名（賞状・トロフィー・副賞 5万円）				(6) 参加料	10,000円				(7) 入場料	無料				(8) 記念事業	「25周年記念事業」として、コンクール審査員らの演奏によるコンサートを実施する。			
(1) 会場	大曲市民会館大ホール、大曲市民会館小ホール（大曲中央公民館）																																											
(2) 開催日	平成25年1月12日（土）予選（ピアノ部門）（弦・管・打部門）（声楽部門） 平成25年1月13日（日）本選（全部門）																																											
(3) 出場資格	ピアノ部門――高校生以上30歳まで 弦・管・打部門――高校生以上30歳まで 声楽部門――高校生以上35歳まで			23年度（H24.1.14～15） 出場者数 52名 （申込者数 57名） 入場者数 833名																																								
(4) 審査員	日本を代表する高名な演奏家及び指導者（6名）			22年度 出場者数 64名 入場者数 751名																																								
(5) 授賞	グランプリ 1名（賞状・トロフィー・副賞30万円） 優秀賞 2名（賞状・トロフィー・副賞10万円） 奨励賞 3名（賞状・トロフィー・副賞 5万円）																																											
(6) 参加料	10,000円																																											
(7) 入場料	無料																																											
(8) 記念事業	「25周年記念事業」として、コンクール審査員らの演奏によるコンサートを実施する。																																											
<b>4. これまでの成果と今後の方向性</b> キャッチコピーの応募数は増加しており、市民の参加や関心も高まってきている。 23年度からは市の単独事業として実施し、新たに「大仙市市民会館等運営連絡協議会」（以下運営協）を、自主事業公演の企画立案を図り協働によるまちづくりの推進に資することを目的として設置した。この運営協と実行委員会で「新人音楽祭コンクール」の今後の運営方針についても協議していただき、例えば「ジュニア部門の新設」「聴衆者賞の新設」等のアイデアを実現しながら拡大を図っていきたい。																																												
《H23年度事務事業評価における内容》 ○23年度で第24回目となる「新人音楽祭コンクール」は多くの特色を持ったコンクールであるが、特に地方自治体が直接主催するコンクールは他に例が少ない。 ○市民参画による実行委員会と多くの市民ボランティアで運営されており、合併6年を経て、市全域からの市民参加が増えてきており、「行政と市民との協働のまちづくり」に非常に有効である。 ○市内中学校の吹奏楽部・マーチングバンド、また社会人吹奏楽団・マーチングバンド等は全国レベルにあり、「新人音楽祭コンクール」も当市の音楽レベルの向上と未来を担う子供たちが心豊かに育つために大きな役割を果たしている。				総合評価 （今後の方向性）  <b>改善しながら 継続</b>																																								
<b>5. 財源内訳</b> <span style="float: right;">（単位：千円）</span>																																												
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源																																								
5,427			660	4,767																																								
<b>【その他】</b> 20款5項5目：入場料等収入																																												

# 事 業 説 明 書

10 款 5 項 6 目 11 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 生涯学習部 文化財保護課

(施策の大綱) 芸術、文化の振興

(施策) 文化財の保護保全・整備と活用

(基本事業) 文化財の保存活用施設の整備

<b>【事業名】</b> 文化財保護施設管理費 <b>【説明項目】</b> 新資料館（旧峰吉川小学校）の開館と維持管理について				
<b>【24年度】</b> 11,277 千円 <b>【23年度】</b> 10,315 千円 <b>【増減額】</b> 962 千円				
<b>1. 事業の目的</b> 市内各施設から民俗資料等を集約し整備を進めてきた協和地域の旧峰吉川小学校について、平成24年春に新資料館として開設する。民俗資料等の展示・保管施設としての役割のみならず、地域間世代間交流の場、総合学習や生涯学習の場など、ふるさとの文化を学ぶことのできる施設として活用を図る。				
<b>2. 事業の目標（数値目標）</b> 国道13号線沿いという立地条件を活かし、民俗資料館としてのみならず、観光情報コーナーを設け大仙市の観光情報も得られるような総合的な資料館を目指す。 開館初年度となる平成24年度は、来館者数1,500人を目標とする。				
<b>3. 事業の概要</b> ■開館時期 平成24年4月中旬～下旬 ■場 所 大仙市協和峰吉川字南明谷地1（旧峰吉川小学校） ■名 称 （仮称）大仙市総合民俗資料交流館 ■入館料 無料 ■施設の概要 1階・・・体験展示室（川と舟のある暮らし・懐かしの昭和の街並）、企画展示室、展示交流室、談話室など 2階・・・体験展示室（農具展示・昔の台所）、保管展示室、観光情報コーナーなど 3階・・・展望交流室 玄関ホール・・・「醸造の文化」の展示  新資料館に係る経費 【24年度】7,052千円 施設の通常の維持管理にかかる、人件費、水道光熱費、各種委託料、修繕料等である。 ◆参考 【23年度】5,785千円 前年に比較しての増額は、開館に伴う施設管理人配置のための人件費の増である。				
<b>4. これまでの成果と今後の方向性</b> ○秋田県ふるさと雇用再生臨時対策基金（県支出100%）を活用し、平成21年度～23年度にかけて市内各地域にある老朽化した施設から民俗資料等を旧峰吉川小学校に集約し整備を進めてきた。施設を統廃合・再編することで、各施設の維持管理費の削減が図られ、また、廃校施設を有効利用することができた。 ○平成24年度の開館後は、旧学校という建物上、施設の面積が広く光熱費がかかり増しになる懸念があるが、節減に努めながら施設を維持管理していく。 ○館内に交流室や談話室を設け、地域住民が気軽に利用できる環境をつくる。学校教育の場だけでなく、家族で訪れても楽しく学べる施設を目指す。資料の展示替えや体験プログラム（連休や長期休暇中の子ども向け教室）の充実を図り、再来館者の確保に努める。				
《H23年度事務事業評価における内容》 効率性：民俗資料等を収蔵していた大曲民俗資料館、南外民俗資料収蔵庫、協和大盛資料室から資料を移転集約し、老朽化していた各施設を解体することで維持管理費の削減につながった。				総合評価 （今後の方向性） <b>改善しながら継続</b>
<b>5. 財源内訳</b>				
（単位：千円）				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
11,277				11,277

# 事 業 説 明 書

10 款 5 項 6 目 14 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 生涯学習部 文化財保護課

(施策の大綱) 芸術、文化の振興

(施策) 文化財の保護保全・整備と活用

(基本事業) 文化財の整備と活用

<b>【事業名】</b> 弘田柵跡環境整備事業費 <b>【説明項目】</b> 弘田柵跡外郭北門周辺盛土整地工事について				
<b>【24年度】</b> 5,190 千円 <b>【23年度】</b> 5,195 千円 <b>【増減額】</b> △ 5 千円				
<b>1. 事業の目的</b> 遺跡の保存を図ると共に、遺跡の性格や内容をわかりやすく表現することで、多くの見学者に史跡公園として利用してもらうことを目的とする。総合学習や生涯学習の場として、また市民の憩いの場や仙北地域の夏祭などの各種催事会場として、さまざまな活用を通じて遺跡と文化財保護についての理解を得られるよう環境整備の推進を図る。				
<b>2. 事業の目標（数値目標）</b> 第3次史跡環境整備基本計画（平成15年度策定・文化庁承認）に基づき、年次計画による事業実施（外郭北東部を中心とした復元を含む部分整備計画）を行う。 ■設定期間： 平成7年～平成35年度（予定） ■目標数値： 平成24年度末事業進捗率 約19.4%（全体事業費1,000,000千円のうち194,500千円） （平成23年度末までの事業進捗率 約18.9%）				
<b>3. 事業の概要</b> 現在年次計画に基づいて進めている外郭北東部整備事業の1つとして、今後予定している外郭北門の立体表示に対応した外郭北東部周辺の盛土整地工事及び外郭北門立体表示に係る実施設計を行う。これまでに実施した芝張整備地と連結させて見学ルートを整備し、見学者の遺跡北部への理解が深められるとともに、盛土保護による遺跡保存と史跡の活用を推進する。  <b>【平成24年度事業計画】</b> ○外郭北門周辺盛土整地工事（地下遺構の保護及び復元整備の基層工事） 盛土面積 2,035㎡（平均厚30cm） ○外郭北門立体表示等実施設計業務委託 ○国補助率50%（補助対象経費 5,000千円）				
<b>4. これまでの成果と今後の方向性</b> 史跡の環境整備により、県内外及び全国から年間約4万人の見学客が訪れ、総合学習や生涯学習、市民の憩いの場、催事開催、グラウンドゴルフ等レクリエーション利用など多目的な活用の場として利用されている。 平成25年度から外郭北門等の立体復元を計画しており、その計画に基づいて外郭北門周辺の盛土整地工事や環境整備等を継続して行う。				
《H23年度事務事業評価における内容》 必要性：国指定史跡の保存・整備・活用上必要性の高い事業である。大仙市だけでなく秋田県を代表する遺跡として、保存のための環境整備を計画的に行い、史跡活用につなげるための事業として必要である。 有効性：盛土整地工事や遺構の一部復元は、遺構保護及び遺跡の性格を理解するために有効な方法である。 効率性：現在の事務量等考慮し効率的である。				総合評価 （今後の方向性）  改善しながら 継続
<b>5. 財源内訳</b>				
（単位：千円）				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
5,190	2,500			2,690
【国県支出金】 14款2項7目：弘田柵跡環境整備事業費補助金				

# 事 業 説 明 書

10 款 5 項 6 目 15 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 生涯学習部 文化財保護課

(施策の大綱) 芸術、文化の振興

(施策) 文化財の保護保全・整備と活用

(基本事業) 文化財の保護保全と調査

<p>【事業名】 払田柵跡土地買上事業費</p> <p>【説明項目】 払田柵跡史跡指定地内の土地買上について</p>														
【24年度】		5,613 千円	【23年度】 5,138 千円 【増減額】 475 千円											
<p>1. 事業の目的</p> <p>土地公有地化により遺跡の保存と共に、環境整備により史跡公園として遺跡の性格や内容をわかりやすく表現することにより、多くの見学者に史跡公園として利用してもらうことを目的とする。</p>														
<p>2. 事業の目標（数値目標）</p> <p>国指定史跡「払田柵跡」（昭和6年・県内初の史跡指定）は、遺跡保存のため昭和54年度から公有地を目的とした土地買上事業、昭和57年度から遺跡整備活用を目的とした環境整備事業が行われている。今後は、大仙市の文化財主要拠点として、他の文化財と連携して歴史散策コースの設定などを行い、先人の文化遺産を通して市民の文化意識の高揚と啓発を図りたいと考えている。</p> <p>第2次保存管理計画書(平成14年度策定・文化庁承認)に基づき実施</p> <p>■設定期間 昭和54年～平成35年</p> <p>■目標数値 平成24年度末進捗率 80.1% (全体計画面積210,700㎡ 買上面積168,959㎡) (平成23年度末までの事業進捗率 79.2%)</p>														
<p>今後の整備計画に従って史跡保存・景観保存・公開活用整備のために公有地化するものである。所有者の同意が必要であり、今般移転の同意が得られていることから買い上げ機会を逸することがないよう適切に買い上げ事業を進める必要がある。</p> <p>【平成24年度事業計画】 史跡指定地内(外郭南門南東部)の水田(2筆)の買上を計画している。 ○土地買上 水田2,039㎡(2筆) 見込単価2,600円/㎡程度(不動産鑑定評価実施) ○国補助率 80%</p>														
<p>4. これまでの成果と今後の方向性</p> <p>史跡公有地化により、重要な遺跡が保護されることはもちろんであるが、買上事業と平行して実施される史跡環境整備事業(別紙事業説明書に別途記載)により、県内外、全国から観光客を誘客可能な大仙市内における数少ない文化的観光資源を創出することが可能となる。また、市民の憩いの場、催事開催、グラウンドゴルフ等レクリエーション利用など多目的な活用の場を創出できるなど、観光振興、地域振興、地域間交流の促進に大きな効果が期待できる。</p>														
<p>《H23年度事務事業評価における内容》</p> <p>必要性：国指定史跡の保存・整備・活用上必要性の高い事業である。 国民的遺産であり大仙市を代表する文化遺産（資産）として整備・活用（文化的観光振興・史跡公園市民活用等）を効率的、効果的に実施するための前提条件として必要な事業である。</p> <p>効率性：現在の事務量等を考慮し効率的である。 史跡払田柵跡保存管理計画（遺跡重要地区公有地化計画）に基づき、地権者の意向同意を得ながら、効率的に事業を進める。</p>				<p>総合評価 (今後の方向性)</p> <p>改善しながら 継続</p>										
<p>5. 財源内訳</p> <p style="text-align: right;">(単位:千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">予算額</th> <th style="width: 25%;">国県支出金</th> <th style="width: 25%;">市債</th> <th style="width: 25%;">その他</th> <th style="width: 10%;">一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">5,613</td> <td style="text-align: center;">4,488</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">1,125</td> </tr> </tbody> </table> <p>【国県支出金】 14款2項7目：文化財保存事業費補助金</p>					予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	5,613	4,488			1,125
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源										
5,613	4,488			1,125										



# 事 業 説 明 書

10 款 5 項 6 目 17 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 生涯学習部 文化財保護課

(施策の大綱) 芸術、文化の振興

(施策) 文化財の保護保全・整備と活用

(基本事業) 文化財の整備と活用

【事業名】 旧池田氏庭園整備事業費				
【説明項目】 旧池田氏庭園米蔵保存整備工事・庭園修景整備業務委託について				
【24年度】		48,860 千円	【23年度】 65,060 千円 【増減額】 △ 16,200 千円	
1. 事業の目的				
<p>旧池田氏庭園整備事業により名勝庭園の景観を保持しながら、築庭当時の景観復元整備を行い、学術上・観賞上優れたこの庭園を往時の姿に甦らせることを目的とする。</p>				
2. 事業の目標（数値目標）				
<p>国指定名勝「旧池田氏庭園」（平成16年指定・庭園として県内初の国名勝指定）は、学術的・鑑賞的価値の保存伝承を図るために、平成16年度から庭園整備事業が行われている。今後は、大仙市の文化財主要拠点として、他の文化財と連携して歴史散策コースの設定などを行い、先人の文化遺産を通して市民の文化意識の高揚と啓発を図りたいと考えている。</p> <p>旧池田氏庭園保存整備管理計画に基づき年次計画により実施（文化庁協議のもと平成22年度策定）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■設定期間 平成16年～平成45年度（予定）</li> <li>■目標数値 平成24年度末進捗率 44.9%（全体事業費1,000,000千円のうち449,250千円） （平成23年度末までの事業進捗率 40.5%）</li> </ul>				
3. 事業の概要				
<p>旧池田氏庭園の建築物修復工事の一環として、現存する土蔵（米蔵・味噌蔵・内蔵三棟）のうち、米蔵と味噌蔵の修復工事を年次計画により実施し、あわせて旧米蔵付属屋を外観復元し公開活用のための便益施設（ガイダンス施設）を新築整備する計画である。米蔵味噌蔵修復に係る年次工期については、展示工事等を含み、5ヵ年の工期を想定している。</p> <p>【平成24年度整備事業計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○米蔵修復工事（基礎・外壁工事） 2／4年次工事（味噌蔵含む5年）</li> <li>○庭園修復工事（枯死植栽の補植・枯死生垣修復 整備工事他）</li> </ul>				
4. これまでの成果と今後の方向性				
<p>庭園の環境整備により、県内外、全国から観光客を誘客可能な大仙市内における数少ない文化的観光資源を創出することが可能となる。また、市民の憩いの場、催事開催、茶会等の文化的な生涯学習活動利用などのための多目的な活用を創出できるなど、観光振興、地域振興、地域間交流の促進に大きな効果が期待できる。</p>				
<p>《H23年度事務事業評価における内容》</p> <p>必要性：国指定名勝の保存・整備・活用上必要性の高い事業である。 国民的遺産であり大仙市を代表する文化遺産（資産）として整備・活用（文化的観光振興・市民の憩いと癒しの場等）を効率的、効果的に実施するための前提条件として必要な事業である。</p> <p>有効性：平成23年度入園者数 24,000人を数え観光振興における効果がある。</p> <p>効率性：現在の事務量等を考慮し効率的である。 名勝池田氏庭園保存整備管理計画に基づき、効率的に事業を進める。</p>				<p>総合評価 （今後の方向性）</p> <p>改善しながら 継続</p>
5. 財源内訳				
（単位：千円）				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
48,860	24,375	22,000		2,485
【国県支出金】 14款2項7目：池田氏庭園整備事業費補助金				
【市 債】 21款1項7目：文化財整備事業債				

# 事 業 説 明 書

10 款 5 項 6 目 18 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 生涯学習部 文化財保護課

(施策の大綱) 芸術、文化の振興

(施策) 文化財の保護保全・整備と活用

(基本事業) 文化財の保護保全と調査

<b>【事業名】</b> 埋蔵文化財調査費 <b>【説明項目】</b> 商業開発や圃場整備等の開発行為に対応した埋蔵文化財調査について				
<b>【24年度】</b> 5,575 千円		<b>【23年度】</b> 5,020 千円		<b>【増減額】</b> 555 千円
<b>1. 事業の目的</b> 大仙市内における商業開発や圃場整備、道路建設等の開発行為が行われる際に、事業計画地に周知の遺跡が含まれる場合は、文化財保護法により埋蔵文化財の発掘調査を行う必要がある。また、周知の遺跡が含まれない場合であっても大規模な開発行為が行われる場合は、遺跡発見による工事中断等を防ぐため、事前の踏査・試掘調査が求められる。発掘調査は迅速かつ適切な遂行が必要であるため、人員体制の整備及び機材等の整備をし、開発行為の円滑な実施と埋蔵文化財の保護を目的とする。				
<b>2. 事業の目標（数値目標）</b> ・ 開発行為が円滑に実施されること。 ・ 開発行為により埋蔵文化財が破壊されることがないように事業者と調整を図る。 （数値目標）開発行為による市内の埋蔵文化財の破壊→0件				
<b>3. 事業の概要</b> 県営ほ場整備、宅地造成等の開発行為に係る試掘調査及び範囲確認調査の実施 <b>【平成22年度実績】</b> ・ 調査箇所：13地区 ・ 内訳：ほ場整備3地区、砂利採取6地区、宅地建物等2地区、農業集落排水1地区、区画整理1地区 <b>【平成23年度実績】</b> ・ 調査箇所：19地区 ・ 内訳：ほ場整備3地区、砂利採取6地区、宅地建物等7地区、区画整理1地区、携帯鉄塔建設1地区 その他1地区 <b>【平成24年度予定】</b> ほ場整備事業に係る試掘調査が3地区予定されているが、その他の開発数は未定。				
<b>4. これまでの成果と今後の方向性</b> 埋蔵文化財は文化財保護法で保護されているため、埋蔵文化財の調査は必要不可欠なものであるが、文化財保護法第99条第3項で、「地方公共団体は発掘に関し、事業者に対し協力を求めることができる。」と規定されていることから、できるだけ事業者の協力をもらい必要最小限の経費で埋蔵文化財の保護に努める。また、平成26年度以降も、市内において大規模なほ場整備が複数計画されているため、平成25年度以降も試掘調査等の実施が必要であり本事業は継続しなければならない。				
《H23年度事務事業評価における内容》 必要性：開発行為の実施においては、遺跡の不時発見を回避するため事前の試掘調査等が求められることから、人材・資材等の調査体制を整備する必要がある。本事業は開発事業のスムーズな実施及び埋蔵文化財の保護に必要な事業である。 有効性：考古学的手法により適切に実施されており有効である。 効率性：現在の事務量を考慮すると効率的である。				総合評価 （今後の方向性）  <b>改善しながら 継続</b>
<b>5. 財源内訳</b>				
（単位：千円）				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
5,575	2,160			3,415
<b>【国県支出金】</b> 14款2項7目：文化財保存事業費補助金 1,800 15款2項8目：文化財保存事業費補助金 360				

# 事 業 説 明 書

10 款 6 項 1 目 11 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 生涯学習部 スポーツ振興課

(施策の大綱) スポーツ、レクリエーションの推進

(施策) スポーツ機会の拡大

(基本事業) 生涯スポーツの推進

【事業名】 スポーツ振興事業費

【説明項目】 スポーツ振興事業に係る経費について

【24年度】 7,522 千円 【23年度】 6,094 千円 【増減額】 1,428 千円

## 1. 事業の目的

スポーツ振興計画の基本理念に基づき、市民の誰もが、それぞれの目標に応じて、いつでもどこでも、いつまでもスポーツを楽しむことができるように、各地域において子供からお年寄りまで気軽に参加でき、広く世代交流できる教室や大会を開催することを目的とする。

## 2. 事業の目標（数値目標）

・現在、市が主催している地域限定のスポーツイベントについて、体協地域支部やスポーツクラブへの事業委託を推進する。また、体協・スポ少の事業全般を、将来的には総合型地域スポーツクラブへの事業委託とし、市民主導型のスポーツ環境を構築する。

・スポーツ事業委託数 H23年度（12事業） ⇒ H24年度（19事業）

## 3. 事業の概要

### 【主な事業】

平成22年度から、地域限定的なスポーツイベントをスポーツクラブや体協加盟団体へ事業委託することにより、市民主導型のスポーツ環境の構築に努めている。また、各地域の体育協会・スポーツ少年団の事業全般を総合型地域スポーツクラブへ事業委託し、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブの育成に努める。

### 【スポーツ事業委託数】

【H24 委託事業数】			
No	事業名	地域名	委託先
1	大曲なかよしウオーキング	大曲	大曲スポーツクラブ
2	ニューススポーツフェスティバル		
3	スキーフェスティバル		
4	体協・スポ少支部事業	中仙	バスケット協会中仙支部
5	中仙親善少年バスケットボール大会		
6	中仙親善ミニバスケットボール大会		
7	グラウンドゴルフ大会	協和	体育協会協和支部
8	ゲートボール大会		
9	協和地域野球大会		
10	年代別野球大会	南外	野球連盟南外支部
11	わんぱくスキー教室&大会		
12	ジャイアントスラロームジュニア大会		
13	南外地域野球大会	太田	太田スポーツクラブ
14	冬季野球教室		
15	奥羽太田ロードレース大会		
16	秋田県親善ゲートボール大会		
17	大台大回転スキー大会		
18	マスターズスキー大台大会		
19	体協・スポ少支部事業		

【H23 委託事業数】 ※ 参考			
No	事業名	地域名	委託先
1	大曲なかよしウオーキング	大曲	大曲スポーツクラブ
2	ニューススポーツフェスティバル		
3	スキーフェスティバル		
4	中仙親善少年バスケットボール大会	中仙	バスケット協会中仙支部
5	中仙親善ミニバスケットボール大会		
6	ジャイアントスラロームジュニア大会	協和	スキー連盟協和支部
7	南外地域野球大会	南外	野球連盟南外支部
8	奥羽太田ロードレース大会	太田	太田スポーツクラブ
9	秋田県親善ゲートボール大会		
10	大台大回転スキー大会		
11	マスターズスキー大台大会		
12	体協・スポ少支部事業		

## 4. これまでの成果と今後の方向性

・各種スポーツ事業（大会等）を実施し、多様化する市民のスポーツニーズに応えることで健康増進に寄与する。  
 ・市民の多様化するスポーツニーズに応えると共に、今後は事業の統廃合や見直しを図り負担の軽減に努める。

### 《H23年度事務事業評価における内容》

- ・体育協会、スポーツ少年団の事業全般を、総合型地域スポーツクラブへ事業委託することで、持続的な団体運営が可能となった。
- ・各種スポーツ大会の事業委託が推進され、低コストで効率的な大会運営となった。

総合評価  
(今後の方向性)

改善しながら  
継続

## 5. 財源内訳

(単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
7,522				7,522

# 事 業 説 明 書

10 款 6 項 1 目 13 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 生涯学習部 スポーツ振興課

(施策の大綱) スポーツレクリエーションの推進

(施策) スポーツ機会の拡大

(基本事業) 生涯スポーツの推進

【事業名】 全県500歳・550歳野球大会関係費														
【説明項目】 全県500歳野球大会及び全県550歳野球大会の開催について														
【24年度】		2,225千円	【23年度】 2,425千円 【増減額】 △200千円											
<p>1. 事業の目的</p> <p>「一生 スポーツ 一生 健康」のキャッチフレーズのもと、500歳・550歳野球大会に参加することにより、多くのこよなく野球を愛する熟年世代の心身の健康増進に寄与する。併せて、地域知名度の向上と観光宣伝及び特産品PRを通じて地域活性化を図ることを目的とする。</p>														
<p>2. 事業の目標（数値目標）</p> <p>「高齢者が楽しみながら健康づくり」をモットーに、選手の健康面、複雑なルールをスムーズ化し、青少年の模範となるスポーツマンシップな大会とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全県500歳野球大会参加チーム数      H23年度 173チーム                      ⇒      H24年度 174チーム</li> <li>・ 全県550歳野球大会参加チーム数      H23年度 32チーム（記念大会） ⇒      H24年度 24チーム</li> </ul>														
<p>3. 事業の概要</p> <p>平成21年度から、全県500歳野球大会と全県550歳野球大会を一元的に実施していくための実行委員会を再編し、会場を全市に拡大している。 平成24年度の事業概要については次のとおり。</p> <p>【全県550歳野球大会(予定)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・抽選会                      平成24年6月20日      ※秋田魁新報本社</li> <li>・大会日程                  平成24年7月28日(土)～7月30日(月)      ※予備日(7月31日)</li> <li>・会 場                      1. 南外山村運動広場(主会場)、ほか3会場 (全 4会場)</li> </ul> <p>【全県500歳野球大会(予定)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・抽選会                      平成24年8月8日      ※秋田市文化会館</li> <li>・大会日程                  平成24年9月22日(土)～26日(水)      ※予備日(9月27日)</li> <li>・会場                      1. 神岡野球場(主会場)、2. 大曲球場、3. サン・スポーツランド協和野球場 4. 八乙女球場、ほか14会場 (全 18会場)</li> </ul>														
<p>4. これまでの成果と今後の方向性</p> <p>「高齢者が楽しみながら健康づくり」を合い言葉の下、雪解けと同時に練習試合や交流戦が行われており、高齢者の健康づくりの一役を担っている。また、今後も更に充実した大会運営を目指し、運営に万全を期すため増設した会場設備等の充実を図る。</p>														
<p>《H23年度事務事業評価における内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大仙市を代表するスポーツイベントとして成長しており、県内野球愛好者からは今なおニーズが高まっている。</li> <li>・中高年齢層の方々が、継続的にスポーツを行うことへの動機づけとなっており、生活資質の向上・健康づくりへの貢献、すなわち「一生 スポーツ 一生 健康」において有意義である。</li> </ul>				<p>総合評価 (今後の方向性)</p> <p>改善しながら 継続</p>										
<p>5. 財源内訳</p> <p style="text-align: right;">(単位:千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">予算額</th> <th style="width: 25%;">国県支出金</th> <th style="width: 25%;">市債</th> <th style="width: 25%;">その他</th> <th style="width: 10%;">一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">2,225</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">2,225</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	2,225				2,225
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源										
2,225				2,225										

# 事 業 説 明 書

10 款 6 項 1 目 15 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 生涯学習部 スポーツ振興課

(施策の大綱) スポーツレクリエーションの推進

(施策) スポーツ機会の拡大

(基本事業) 競技スポーツの振興

【事業名】 スポーツ合宿等推進交流事業費				
【説明項目】 スポーツ合宿等推進及び地域交流事業について				
【24年度】		976 千円	【23年度】 287 千円 【増減額】 689 千円	
1. 事業の目的 スポーツ合宿、スポーツキャンプ、公式試合、交流試合等の実施を誘致・推進することで、スポーツ少年団や中学・高校の競技者等に刺激を与え、競技力の向上が期待できることと併せ、市民が競技スポーツへの関心を高め、またスポーツを活用したまちづくりや賑わいの創出を図り、地域の活性化に資することを目的とする。				
2. 事業の目標（数値目標） スポーツ振興計画の実現に向けて、4つの基本目標の一つに「競技スポーツの振興」が掲げられ、本市では交通機関の利便性と地域資源を活用し、ハイレベルな大会や合宿等を誘致・推進することにより、市民が競技スポーツに関心を持つことを目標とする。				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成23年度宿泊実績 総宿泊費 10,211,750 円 (5 大学、3 高校) 延べ宿泊者数 1,758 人</li> <li>・ 平成24年度宿泊目標 総宿泊費 24,000,000 円 (7 大学、2 高校) 延べ宿泊者数 4,000 人</li> </ul>				
3. 事業の概要				
【大仙市 in 夏季スポーツ合宿等計画】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施時期 平成24年7月下旬 ～ 8月下旬</li> <li>・ 実施場所 市内スポーツ施設 及び 宿泊施設</li> <li>・ 対象範囲 県外または市外の大学・高校で、市内の宿泊施設並びにスポーツ施設を拠点とした合宿・遠征等。</li> <li>・ 実施方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大仙市を拠点とした合宿等を実施していただく大学等団体に施設利用料免除とするため、施設管理をしている指定管理者へ納めるべく利用料を市が負担する。（市内利用料金へ減額措置）</li> <li>・ 合宿期間中の監督・コーチ等の移動手段としてレンタカーを手配し、利便性の確保をアピールすることにより継続して合宿招致できるよう推進する。</li> </ul> </li> </ul>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成24年度の新規合宿及び大会（予定） <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 早稲田大学応援部（リーダー・チアリーダー・吹奏楽 100～150名）8泊9日</li> <li>2) 全日本大学軟式野球選手権大会（地区代表 23チーム）5日間 ※横手市と合同開催</li> </ol> </li> </ul>				
4. これまでの成果と今後の方向性				
平成10年度から継続的に夏季合宿を行っている横浜商科大学・東京学芸大附属高校をはじめ、平成22年度から本格的に合宿を招致・推進してきた結果、平成23年度は県外・市外の5大学・3高校から合宿地として選考していただいた。夏季合宿の受入れにも限界があるため、今後は春季・秋季合宿も推進していく。				
《H23年度事務事業評価における内容》				総合評価 (今後の方向性)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県外、市外からスポーツ合宿を招致することは、「スポーツ振興による地域の活性化」につながり、スポーツ政策として必要であるとともに有効である。</li> <li>・ 秋田県をはじめ、県内各市町でもスポーツ合宿補助金等を交付しているところが増えてきているなか、本市は先駆けて低廉な事業費できめの細かいサービスを提供しながら実績を上げている。</li> </ul>				改善しながら 継続
5. 財源内訳				
(単位:千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
976				976

# 事 業 説 明 書

10 款 6 項 1 目 17 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 生涯学習部 スポーツ振興課

(施策の大綱) スポーツ、レクリエーションの推進

(施策) スポーツ機会の拡大

(基本事業) 競技スポーツの振興

【事業名】 トップスポーツ推進事業費											
【説明項目】 トップスポーツ推進事業に係る経費について											
【24年度】	1,000 千円 【23年度】 0 千円 【増減額】 1,000 千円										
<p>1. 事業の目的</p> <p>身近な選手のトップレベルでの活躍は、市民のスポーツに対する興味・関心・意識を高めるため、体育協会やスポーツ少年団など各団体と連携し、競技スポーツの振興が図られるよう活動を支援することを目的とする。</p>											
<p>2. 事業の目標（数値目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の特徴である交通の利便性、施設の立地条件を活かし、トップレベルの大会誘致などを積極的に推進することで、競技人口の底辺拡大を図り、市民がスポーツに関心を持てるような取り組みとすることを目標とする。</li> <li>・スポーツ大会誘致数 H24年度（1. プロバスケットボール プレシーズンマッチ）</li> </ul>											
<p>3. 事業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田県を本拠地として、2010年から日本プロバスケットボールリーグ（bjリーグ）に所属する「秋田ノーザンハピネッツ」のプレシーズンマッチを誘致し、トップレベルのスポーツに触れる機会を提供し、「みるスポーツ」への関心を高める。</li> <li>・公式戦に先立ち、スポーツ少年団等をはじめとする少年・少女を対象とした「バスケットボールクリニック」を開催し、本市選手・指導者の競技レベルの向上を図る。</li> <li>・大会日程は、9月8日もしくは9日の開催で現在調整中。</li> <li>・会場は大曲体育館とし、現在の観客席のほか仮設の観客席を設置し約1,200人の観客数を見込む。</li> <li>・その他 今シーズン（2011-2012）の「秋田ノーザンハピネッツ」成績は、東（東日本）地区で2月3日現在、9チーム中で首位と1ゲーム差2位の活躍となっている。</li> </ul>											
<p>4. これまでの成果と今後の方向性</p> <p>レベルの高い試合などを直接観ることは、競技者に大きな刺激を与えるだけでなく、自らの競技力を向上しようとする機運を醸成する。また、このような機会があることは市民の競技スポーツについての理解を進めるうえでも大きな意義を持つこととなる。</p>											
《H23年度事務事業評価における内容》	総合評価 (今後の方向性)										
<p>5. 財源内訳</p> <p style="text-align: right;">(単位:千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>予算額</th> <th>国県支出金</th> <th>市債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">1,000</td> </tr> </tbody> </table>		予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	1,000				1,000
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源							
1,000				1,000							

# 事 業 説 明 書

10 款 6 項 1 目 19 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 生涯学習部 スポーツ振興課

(施策の大綱) スポーツ、レクリエーションの推進

(施策) スポーツ機会の拡大

(基本事業) 競技スポーツの振興

【事業名】 大仙市長杯争奪大学野球サマーキャンプ記念大会関係費					
【説明項目】 大仙市長杯争奪大学野球サマーキャンプ記念大会に係る経費について					
【24年度】	300 千円	【23年度】	0 千円	【増減額】	300 千円
1. 事業の目的					
<p>本市で夏季合宿を実施している大学の試合を支援・PRし、ハイレベルな大会を観戦する機会を提供することにより、市民のスポーツに対する興味・関心・意識を高め、競技スポーツの振興を図ることを目的とする。</p>					
2. 事業の目標（数値目標）					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市を拠点に実施している大学野球合宿を活かし、県内外から試合に参戦する大学野球部や試合の観戦者を招き入れ、スポーツを活用した地域知名度の向上と地域活性化を図ることを目標とする。</li> <li>・大会参戦チーム数 H24年度（県外 4 チーム）</li> </ul>					
3. 事業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度は、本市を拠点に夏季合宿を実施している神奈川県「横浜商科大学」が旧神岡町の頃より継続して15周年となることから、感謝の意を込めた市長杯記念大会を開催する。</li> <li>・昨年発生した東日本大震災復興を目的とした、チャリティー支援を併せた内容の大会運営を企画する予定。</li> <li>・大会日程は、横浜商科大学が合宿を予定している8月14日～21日の間で現在調整中。</li> <li>・会場は施設設備・観客席の充実した大曲球場とし、より多くの観戦者を見込めるよう配慮する。</li> <li>・その他 横浜商科大学は、平成23年度神奈川大学野球春季リーグ戦において、リーグ内5チームを寄せ付けず「完全優勝」を果たしている。 また、秋田県内はもとより大仙市内の高校からも選手を受け入れていただくなど、地域に貢献されている。</li> </ul>					
4. これまでの成果と今後の方向性					
<p>レベルの高い試合などを直接観ることは、競技者に大きな刺激を与えるだけでなく、自らの競技力を向上しようとする機運を醸成する。また、本事業を足掛かりに、スポーツ合宿等推進交流事業の合宿誘致に結びつくような大会運営を図る。</p>					
《H23年度事務事業評価における内容》				総合評価 (今後の方向性)	
5. 財源内訳					
(単位:千円)					
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	
300				300	